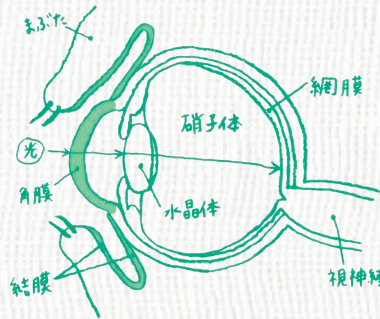


3

目にゴミが入ったらどうなるの？

目を守るいろんな仕組みが備わっています。



モノが見える仕組みについては多くの人が知っていますね。外の光が、黒目(角膜)、目のレンズ(水晶体)、硝子体(しょうしたい)を通して網膜に届き、網膜から脳に信号が送られてモノの形や色がわかります。目に取り込む光の強さやピントを調節する機能も備わっていて、しっかり

モノが見えるようになっているんですね。大切な目はまぶたによって守られています。まぶたが外の刺激から目を守り、異物の侵入を防いでいます。小さなほこりや砂などの異物には病原菌やウイルスなどが付いているので、まぶたが守っているんです。小さなほこりなどはまつ毛が目に入るのを防いでくれます。多少の異物が入っても、目の表面は角膜(黒目)や結膜(白目、まぶたのうら)などの丈夫な膜におおわれているので、目の内部へ異物が入り込むことはありません。

目の表面をうるおしている涙も目を守る大切な役割を果たしています。1分間に15~20回のまばたきによって角膜や結膜の乾燥を防ぎ、涙に含まれる殺菌成分が病原菌などの繁殖を防いでくれます。また、侵入した異物をすぐに洗い流すはたらきも見逃せません。特に角膜(黒目)は痛みを感じやすく、刺激を受けると大量の涙が分泌されるようになっています。有害な異物を涙ですぐに洗い流そうとするんですね。角膜や結膜に病気が起こると目を守る機能が低下します。病原菌などが内部に侵入して大変な障害につながることもあるので、目にゴミが入ったら、こすらずすぐに洗い流すようにしましょう。

